

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記が広東実験中学を視察

●4日、胡春華・省党書記が広東実験中学で「科学技術祭」を参観し、青少年代表と交流会を開催。中華民族の偉大な復興（「中国夢」）に貢献して欲しいと伝えた。林少春・政法書記、藍仏安・副省長も同行（5月5日付『南方日報』）。

2. 何忠友・副省長が清遠市を視察

●4日、何忠友・副省長が清遠市の広州-清遠産業園、清遠ハイテク産業園、清遠長隆等を視察し、安定成長・貿易・観光等に関するプロジェクトの進捗状況について聴取。全力で本年の目標を達成するよう指示（5月5日付『南方日報』）。

3. 反腐敗にかかる処分

●4日、茂名市紀律検査委員会は梁錦紅・元同市環境保護局副局長を嚴重な紀律違反で調査していると伝えた（5月5日付『南方日報』）。

4. 王栄・省政協主席が広州市、深圳市の大学を視察

●3日～5日、王栄・省政協主席が南方科学技術大学、深圳大学、中山大学、南方医科大学、華南理工大学、華南農業大学、広東工業大学、広州漢方薬科大学、暨南大学、華南師範大学を視察。広東省の経済・社会を発展させるために優秀な人材を集めて欲しいと伝えた（5月6日付『南方日報』）。

5. 第119回春季広州交易会が閉幕

●5日、第119回春季広州交易会が閉幕し、3年ぶりに取引額が回復。210の国と地域から18万5,596人のバイヤーが訪れ（前年同期比0.43%増）、累計輸出入取引額は約1,823億元（同0.1%増）（5月6日付『南方日報』）。

6. 何忠友・副省長が仏山市を視察

●5日、何忠友・副省長が仏山市を視察し、安定成長及び貿易協力プラットフォームの構築状況について聴取。具体的かつ実行可能な具体策を提示し、貿易の回復に尽力するよう指示（5月6日付『南方日報』）

7. 2016年広東省農村改革リストの発表

●5日の取材によれば、全省農村改革の深化に関する業務会議が開かれ、（1）農村の財産権制度改革の深化、（2）新型農業経営システムの構築、（3）農業・農村サポート制度の整備、（4）都市-農村発展一体化メカニズムの整備、（5）農村社会のガバナンスの強化・刷新を主な内容とする任務リストが発表された。本年末までに全省統一財産権流通管理プラットフォームを構築予定（5月7日付『南方日報』）。

8. 2016年中国（広東）スマート製造サミットの開催

●5日、広州市で上記サミットが開催され、工業・情報化部、省、市の関連部門代表、専門家、スマート製造企業代表600人余りが出席。2014年のデータによれば、広東省の一定規模以上工業付加価値額を1つの経済体と見なした場合、一定規模以上工業付加価値額は世界第5位となり、中国のみならず世界の重要な製造業の拠点となっている。同省の2016年第1四半期の先進製造業付加価値額は約3,200億元（前年同期比9.7%増）、うち設備製造業の付加価値額は約2,614億元（同10.9%増）（5月7日付『南方日報』）。

Ⅱ. 広州市

1. 広州日報が「ダブル・モーターショー」を開催

●4月30日～5月3日、広州市白雲と琶洲で広州日報主催の上記販売展が開催され、4日間でのべ13万人が訪れ、合わせて4,847台を売り上げた（5月4日付『広州日報』）。

2. 市政府常務会議の開催

●3日午後、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、義務教育（今後3年間で129校の小・中学校を新築・増築）、中小企業への投融資（5億元を投入して中小企業発展基金を設立）等に関する議案を審議し採択（5月4日付『広州日報』）。

3. 反腐敗にかかる処分

●3日午後、広州市紀律検査委員会ウェブサイト「廉潔広州網」は、斉小平・越秀区常務委員兼統一戦線部長を嚴重な紀律違反で調査していると伝えた（5月4日付『広州日報』）。

4. 貧困救済・開発業務会議の開催

●4日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の一連の重要講話、中央・省の同会議の精神を貫徹するよう伝えた。3年来の貧困救済業務（「双到」）について総括し、温国輝・市長が今後の業務について手配。陳建華・市人代常務委員会主任、蘇志佳・市政協主席も出席（5月5日付『広州日報』）。

5. 市党常務委員会議の開催

●4日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、中央の「法執行体制改革の推進による都市管理工作の改善に関する指導意見」及び住宅・都市農村建設部、中央機関編制委員会弁公室、國務院法制弁公室が共同で開催したテレビ電話会議の精神を伝達（5月5日付『広州日報』）。

6. 広州市生育計画工作会議の開催

●4日、黎明・副市長主宰の上記会議が開催され、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が出席。2015年の人口・生育計画目標管理責任制に対する評価について報告。温国輝・市長が2016年の任務を指示し、全面的な2人っ子政策をうまく、しっかり実施するよう伝えた（5月5日付『広州日報』）。

7. 市中に取り残された村改造決議実施状況に対する視察

●4日、市人代常務委員会等の代表が3グループに分かれて、市中に取り残された村改造決議の実施状況について視察。陳建華・市人代常務委員会主任は、「市中に取り残された村」の電力・水道供給状況を改善し、ガス管・光ファイバーを各戸に引くことで、安全で文明的な社区に建設していくよう強調（5月5日付『広州日報』）。

8. クリーンな政治に関する指導グループ会議の開催

●先頃、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、温国輝・市長が出席。2015年の取組に対する評価を通知し、本年の業務等について検討。任書記は党のクリーンな政治と反腐敗闘争は永遠にして終わらず、各級各部門は中央・省・市の紀律検査委員会全体会議の精神をしっかりと貫徹し、政治意識、大局意識、核心意識、看齐意識を強化し、自覚を持って思想と行動を党中央、省及び市党委員会の政策部門による統一的な考え方、行動を用いるよう強調（5月6日付『広州日報』）。

9. 温国輝・市長が中国-湾岸諸国協力委員会自貿区交渉団、香港友好協進会会長と会談

●6日晚、温国輝・市長が中国-湾岸諸国自貿区交渉団と会談し、ハイテク技術産業、金融、観光等の分野で

協力を強化していきたいと伝えた。同日、戴德豊・香港友好協進会会長一行に広州と広東自貿区南沙エリアの発展状況について説明し、リンクを強め、経済・貿易面での協力を深めていきたいと伝えた（５月７日付『広州日報』）。

10. 台湾企業の投資保護に関する座談会の開催

●５日～６日、市人代常務委員会が上記座談会を開催し、「中華人民共和国台湾同胞投資保護法」等の法執行状況について実地検査。陳建華・市人代常務委員会主任等が出席。陳主任は、１９８４年、広州市に初の台湾企業が進出してから、現在までに３、０２８社が進出、投資総額は１４０億米ドルと指摘するとともに、台湾企業はすでに広州市の経済・社会発展にとって重要な構成要素になっていると述べ、台湾企業の投資保護メカニズムをさらに完全なものにしていく必要があると強調（５月７日付『広州日報』）。

11. 市政協機関による「両学一做」学習教育工作会議の開催

●６日、楊建城・市政協副主席主宰の上記会議が開催され、蘇志佳・市政協主席等が出席。蘇主席は習近平・総書記の「両学一做」学習教育の展開にあたっての重要指示の精神をしっかりと学び、その理論と実践に対する自覚を不断に高め、党中央、省・市党委員会の要求を貫徹するよう指示（５月７日付『広州日報』）。

12. 温国輝・市長が河川汚染対策状況を視察

●６日午後から７日午前、温国輝・市長が天河区車陂村の車陂川、白雲区白海面川の支流合流ポイントで河川汚染対策状況を視察。２０１７年までに河川汚染を改善するという目標達成に向けて、責任感と緊迫感を高めるよう指示（５月８日付『広州日報』）。

13. 華南米国商会の調査報告

●華南米国商会が３月に発表した調査報告によれば、調査対象となった２４６社の８３％が華南地域のビジネス環境は良好であると回答。華南地域のヘッドクォーターを広州に設立した企業の比率が６０％まで上昇し、一昨年より４ポイント増（５月８日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 深圳市で「両学一做」学習教育に関する実施案を発表

●先頃、中央・省委員会の段取りに基づき、市党委員会弁公庁が「全市黨員の間で“党規約、一連の講話を学び、立派な黨員になる”ための学習教育を展開することに関する実施案」を発表（５月３日付『深圳特区報』）。

2. 馬興瑞・市党書記一行がチベット自治区を視察

●１日～３日、馬興瑞・市党書記率いる市党・政府代表団が労働節休暇を利用し、チベット自治区の貧困救済、ペリング支援状況を視察。陳全国・チベット自治区党書記と会談（５月４日付『深圳特区報』）。

3. 市政府常務会議の開催

●３日午後、許勤・市長主宰の上記会議が開催され、２０１６年度の立法計画等について審議し採択（５月４日付『深圳特区報』）。

4. 許勤・市長が企業を視察

●４日午前、許勤・市長が企業に対するサービスを検討するため、中電投資股份有限公司等を視察し、生産現場の意見や提案を聴取（５月５日付『深圳特区報』）。

※中電投資股份有限公司は機械・電力設備の輸出額が数年連続で深圳一。

5. 第1回成人式の開催

●4日午前、深圳市で第1回目となる成人式が行われ、18歳の青年代表300人が成人の誓いを述べた。李小甘・市宣伝部長等が式典に出席。深圳市精神文明建設指導委員会弁公室、市教育局、共青团市委委員会の共催（5月5日付『深圳特区報』）。

6. 市党常務委員会議の開催

●5日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、全国宗教工作會議における習近平・総書記の重要講話の精神、汪洋・副総理が「貧困救済＋労働力移転」テスト業務座談会で述べた講話の精神、胡春華・省党書記が広州・深圳・仏山・東莞4市の安定成長座談会で述べた講話の精神について伝達（5月6日付『深圳特区報』）。

7. 改革の全面深化に関する市党指導グループ会議の開催

●5日午前、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で「深圳市2016年改革計画」等について審議し採択。中央・省の要求を貫徹し、全力で改革推進の「ラストワンマイル」を突破するよう強調。許勤・市長、李華楠・副書記等も出席（5月6日付『深圳特区報』）。

8. 鄧海光・副省長が深圳市を視察

●5日、鄧海光・副省長率いる広東省国家森林都市創設調査チームが深圳市を視察に訪れ、馬興瑞・市党書記、許勤・市長と会談。馬書記は国家森林都市を積極的に作り上げ、経済建設とエコ環境建設の協調的発展を促進するため、海・森林・水資源を利用するにあたってのサポートを強めてほしいと伝えた（5月6日付『深圳特区報』）。

9. 招商局集団と恒大集団が戦略的提携

●5日午後、香港で招商局集団（香港駐在の中央企業）と恒大集団（広東省の民間企業）が不動産、金融、インターネット、健康関連産業、文化・観光等の分野で全面的に協力するとする戦略的協力協定を締結（5月6日付『深圳特区報』）。

10. 深圳北京理工・モスクワ大学の定礎式典を開催

●6日午前、許勤・市長主催の上記式典が挙行され、劉延東・副総理、セルゲイ・ナルイシキン・ロシア連邦下院議長、胡春華・省党書記、王晨・全人代副委員長、万鋼・科学技術部長、メルニコフ・ロシア連邦下院第一副議長等が出席。馬興瑞・市党書記が挨拶（5月7日付『深圳特区報』）。

●5日晚、馬興瑞・市党書記、6日午後、許勤・市長がそれぞれモスクワ大学総長、北京理工大学党書記、同大学総長と会談（5月7日付『深圳特区報』）。

11. 第1回「東進戦略」指導グループ会議の開催

●7日午前、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、「深圳市東進戦略アクション・プラン（2016年～2020年）」について審議し採択。深圳市東部を発展の新たな成長源とし、深圳地域の協調的発展、省東西北部地区の振興発展を促進するために貢献していく。許勤・市長も出席（5月8日付『深圳特区報』）。

12. 粉塵爆発事故防止会議の開催

●7日午後、許勤・市長主宰の上記会議が開催され、国家安全生产監督管理総局の光明新区“4・29”粉塵爆発事故に関する通知を伝達させるとともに、全体の向上における粉塵爆発防止に対する特別手配を行なった（5月8日付『深圳特区報』）。

13. 馬興瑞・市党書記が李家俊・天津大学総長一行と会談

●7日晚, 上記会談で馬興瑞・市党書記は, 深圳市に天津大学と米ジョージア工科大学が共同運営する大学を設置する計画を歓迎すると伝えた(5月8日付『深圳特区報』)。

※米ジョージア工科大学: 米国州立工科大学の最高峰。工学分野では世界第7位。